

ごあいさつ

この一年の世界の自然災害を振り返りますと、南太平洋サモア諸島沖地震、インドネシア・スマトラ沖地震、中米ハイチ地震、南米チリ地震、ニュージーランド南島付近の地震と、地震によって引き起こされる揺れや津波による被害は後を絶ちません。それに加えて、台湾、ベトナム、フィリピン、インド、パキスタン、中国での台風や記録的豪雨による大規模な洪水、深層崩壊といった大規模な土砂災害、また、異常な高温が引き起こすロシアなどでの森林火災の拡大、さらに日本の各地でも時間雨量 100mm を超えるような異常な集中豪雨の多発など、気象が鋭い牙をむき、私たち人類の生活はますます自然の脅威にさらされつつあると言っても過言ではないでしょう。地球規模の気候変動への対応が人類にとって急務と考えられます。

日本政府は、CO₂などの温室効果ガスの排出を 2020 年までに 1990 年比 25%削減するという政策を打ち出しました。持続可能な環境調和社会の実現に向けて、地球環境や生物多様性といった課題に対して、常に自然環境と直面する建設業が果たすべき役割はますます重要となると考えられます。

飛島建設は、創業者飛嶋文吉翁がかかげた『利他利己』というお客様第一の精神に則り、品質はもとより、あらゆる企業活動において、高いレベルの質《Quality》を追求することで、常に「お客様の満足」を得るとともに、社会から評価され、存在価値ある企業であり続けることを目指しております。創業以来 120 余年で培った「技術力」と「ものづくりへの熱意」を礎として、「防災のトビシマ」、「建てるから始まる真のお付き合い」をスローガンに、社会の変化に対応しその要請に応えることを使命とし、施工部門と技術開発部門が一体となって技術の開発、研鑽に日々取り組んでおります。

「とびしま技報」は、当社が取り組んでいる技術開発・研究開発の成果や、土木や建築の計画・調査・設計・施工および維持管理など多岐にわたる技術の一端を紹介させていただいております。本誌第 59 号では、現場における技術の検証に重点を置き、トンネル、ダム、シールド、開削等の土木分野、建築施工や設計計画等の建築分野、さらには両分野に共通する環境、維持保全、現場施工監理、品質向上、地震防災におよぶ 38 編を掲載いたしました。

「とびしま技報」を多くの皆様方にご高覧いただき、私どもの活動が少しでもお役に立てれば望外の幸せと存じます。また、一層の技術力の向上のためにも、忌憚のないご意見を賜りますれば幸いです。

末尾になりますが、これまで同様に、トビシマへのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

2010 年 9 月
技術研究所長
三 輪 滋